ドバイ日本人学校　　No. 15

学校だより　熱　砂

＜発　行＞
令和３年 12 月７日
発行責任者：
校長　和田　政男

ドバイ Expo ジャパンデー（12/11），オミクロン株の影響甚大

10 月から開催されているドバイ Expo も会期の半ばを迎えつつあります。学校の児童・生徒が Expo の見学をする「School Visit」も順調に行われ，本校では全ての学年が見学を終了しました。もちろん School Visit で見学できたパビリオンは３～４であり，まだまだ見どころは沢山ありますので，機会があれば是非ご家庭でも見学に訪れてはいかがでしょうか。

さて，以前のお便りでお知らせしているとおり，12/11（土）のジャパンデーへの催事出演要請があり，本校ではちょうど全校で取り組んでいた「南中ソーラン」を披露することに決め，12/11（土）を授業日とし全員参加，12/23 を振替休日として冬休みを一日増やすことに致しました。

そのような計画で進めておりましたところ，新型コロナウィルスオミクロン株の出現により，ジャパンデーに合わせてドバイに来る予定であった VIP の方々，各種パフォーマーの方々の訪ドバイが急遽取りやめになりました。このことによりドバイに居る方々だけで，ジャパンデーで日本の良さをアピールしなければならなくなったようです。本校には，中学部の生徒にジャパンデーの開幕を告げる公式式典での「南中ソーラン」を披露する要請がありました。公式式典は Al Wasl 広場で行われ，日本，ドバイ両国の政府代表の挨拶等もありテレビ中継もされると思います。急な状況の変化に，企画するスタッフの方々も大変なご苦労をしている様子，本校ではこの要請を受け入れることにいたしました。

つきましては，中学部生徒の保護者の皆様には送迎等をお願いするなど，ご負担をお掛けいたしますが何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。小学部児童の計画に変更はありません。

ウェルカム催事での南中ソーラン披露の他，公式式典での披露も加わり，ますます磨きをかけた南中ソーランになることを期待しています。また，このような体験が必ずや子どもたちの成長にプラスになることを信じています。

「囲碁」教室

ドバイ Expo の機会に「囲碁」を世界にアピールしたいと，プロ棋士の後藤九段，黎初段，佃インストラクター，宮岸インストラクターがドバイに来ております。日本人学校の子ども達にも囲碁を紹介したいと，12/6，全ての学年を回って，囲碁教室を開催していただきました。

また，マグネット式の小さな碁盤，碁石セットも多数プレゼントしていただき，今後子どもたちの碁に親しむ姿が見られることを期待しています。

さて，これまで部外者が教室に入って子ども達に接することはコロナ感染対策プロトコル上，出来ないことになっておりました。昨今のプロトコルの改正で，ワクチン接種証明や PCR 検査陰性証明を提示すること，かつ事前に KHDA より許可を得ることで，外部講師を招聘しての授業が出来るようになりました。

その第一号が，今回の囲碁教室でもあります。

今後，必要と判断される場合には KHDA に申請し，外部講師招聘の機会を増やしたいと考えているところです。

今年度の運動会，卒業式の見通しは？

昨年度は中止せざるを得なかった運動会。最新の Dubai Sports Council のプロトコルによると，観客を入れての開催が可能なように読み取れています。今後 KHDA に確認をとりながら進めてまいります。

また，半年ほど前の高校向けの通知では，関係者を招いての卒業式が可能となっておりました。これを準用すれば，本校の今年度の卒業式は通常通り行えるものと期待しております。これにつきましても，KHDA に確認しながら準備を進めます。

リアルタイムで更新される本校ホームページ

昨年度より，本校ホームページがリニューアルされ，更新が頻繁に行われていることにお気づきでしょうか？

これまでは，ホームページ作成ソフトがインストールされているパソコンからしか更新できなかったものが，昨年度から職員の誰もが情報にアクセスでき，校長が掲載を認めると同時に更新できる仕組みになっています。

毎日の生徒の活動の様子が，ほぼリアルタイムで載っておりますので，ホームページも眺めてみてください。

↑　Expo School Visit の一場面。G2 の様子